

よろしくおねがいします！

坂井町家庭教育支援チームです



7名の支援員です。どの方も子育て経験豊かな方々で、明るくていねいな対応をされる自慢のスタッフです。



家庭教育支援は、幼児から小学生、中学生をもつ親御さんへの子育て支援です。

私たち七名は、月一回小学校を訪問し子どもたちと折り紙や塗りの絵など一緒にしながら子どもとの距離を縮めて相談しやすいようにしています。

活動紹介

また、親の子育て支援を行っています。

①毎月第三土曜日午前中には、東十郷コミセンで相談を受けています。

②福井県の「子育てほっとサロン」（親学びプログラム）を行い、親同士が、テーマを決めて子育てを学ぶ機会を設けています。

③令和三年度から、『わが家の「にっこに」日記』を坂井町内、を中心に募集し、ご家庭での『ほのぼのとしたエピソード』や『わが家のルール』を紹介し

た日記を紹介しています。

ぜひ、子育ての参考にしてください。

「右記に最優秀作品の一部紹介」

わが家の「にっこに」日記

令和7年度第5回最優秀作品から

親の姿を見てで賞

大関小学校 保護者 南 章代さん

「成長」

私は普段から、「お願いします」「ありがとうございます」「ご愛用ありがとうございます」を特に気を付けています。この夏休み、息子と買い物に行く機会が増え、その都度何も言っていないのに息子が自分からレジの方に、「お願いします」「ありがとうございます」と言っている事に気が付きました。



特に、言いなさいとも、言わなくてはいけなことも、話したことはありません。いつの間にか、自然に身に付いたのでしょう。とてもうれしい成長した姿でした。



洗濯物をたたむ子と見守り褒める母

子どもの特別な日に忘れてはいけないこと

運動会、大好きな習い事、遊びに集中している時など子どもは最高の笑顔を見せます。

少しでもいいところを見せようが頑張ります。なぜ、子どもは頑張るのでしょうか。

それは、「しっかりと観てもらえる」と分かっているからです。

親の元へ帰れば「よく頑張ったね」と褒めてもらえるからです。

大きなイベントや特別な日だけでなく、子どもが輝けるシーンは多々あります。それを親は家庭内で作り出すことは可能です。簡単なお手伝いをさせ「でき

た」「役に立てた」と思わせること、上達を褒めること、些細な出来事でも注目され褒めてもらえることで、どんどん輝きます。そこで、子どもの新たな才能や可能性に気付くかもしれません。知らなかった一面を知りたかもしれません。それが、子どもを理解し、伸ばすことに繋がっていきます。

参考図書：『できる親子コミュニケーション』59の習慣 岡本真著

今年の計画から

詳細は、各回のチラシを確認して下さい。

- 第1回 ほっとするカフェ 小学校などの学校開放日 保護者会などのとき
- 第2回 新1年生の保護者交流会
- 第3回 聞いた人だけ得するお話し会 9～10月中
- 第4回 親子クッキング教室 10～11月
- 第5回 親のリラックスタイム 日程は未定。

たくさんの方の参加をお待ちしています！